

年間第三十二主日

七五三

2012.11.11 9:30 ミサ

マルコ 12・38-44

今日はこの高円寺教会に集まって、七五三のお祝いを迎えた子どもたちを囲んで、皆で一緒に七五三のお祝いをいたします。今日のミサの中で、この子どもたちを与えてくださった神さまにみんなで一緒に感謝いたします。この子どもたちをここまで大きく育ててくださった、いのちの与え主である神さまにみんなで一緒に感謝します。

子どもたちを育てるお父さんお母さんの苦労は、ここに集まっているほとんどのわたしたちが経験してきたことです。本当に大変。そのお父さんお母さんたちの子どもたちに対する思いがいつも純粹で、神さまが示してくださった、自分を忘れて、自分を捨てて、神さまが与えてくださった恵みであるこの子どもたちへの愛を貫いて生きることができますように。子どもたちのお祝いを迎えて喜びの中にあるご家族のために、みんなで一緒にお祈りしたいと思います。

この教会に集まっている子どもたちだけではなくて、すべてのいのちの源である神さまによってこの世にいのちを与えられた世界中の子どもたちが、与えられたいのちを十分に感謝して生きることができるような、そんな世界になりますように。特に大きな困難の中にあるご家庭のために、苦しみの中にある子どもたちのことを思い起こしながら、いのちの与え主である神さまに、「あなたが与えてくださったいのちが、あなたのお望みに従って豊かに生きられる、そんな世界に、わたしたちのこの世界をしてください」、そう言って、今日は子どもたちの顔を改めてじっくりと見つめながら、「そうなんだ。神さまが与えてくださったいのちなんだ。神さまに与えられてわたしたちに託されたいのちなんだ」、この子をとおして親としての心が分かったわたしたちは、世界中の親たちのために、世界中の子供たちのためにこの七五三のお祝いにあたって神さまにお祈りいたしましょう。

親となったわたしたちは、子供たちのことを「わたしの子ども」、そのようにいつも思っています。そのとおりです。わたしのこの子たちは、わたしが生み出した、わたしたちが育て上げた。そうですけれども、それだけではない。わたしたちにこの子どもを与えてくださった神さまがいてくださって、わたしたちはこの子の親になることができたのです。そんな、神さまへの思いの中で、

神さまへの祈りの中で、わたしたちがいただいた一番の神さまからの贈り物である、親となることができた、その喜びを、これからの日々、生きていくことができますように。親となることによって、わたしたちに伝えられた神さまのいのちの尊さが分かります。親になって初めて、自分たちの親の、自分が子どもだったころの、苦勞が分かります。親になって、回りからかけられる声があるにありがたいかということが分かりました。子どもに対するその心によって、わたしたちの世界はこんなに広がりました。わたしたちの心はこんなに広がりました。子どもたちへの愛によって、わたしたちは、何が一番大切であるかを知ることができました。それは、思いやる心、愛の心、寄り頼む心、そのような心を、今日この七五三のお祝いを迎えた子どもたちをみんなで囲んで新たにしたいと思います。そうです、わたしたちが生きているこの世界で一番大切なのは、わたしたちみんなにこのいのちを与えてくださった神さま、あなたへの感謝です。

この子どもたちに何を伝えなければいけないかといえば、それは感謝する心です。感謝することができたときに、神さまがそこにいてくださる。今日わたしたちの感謝は神さまに向かっています。そしてその感謝を受け止めてくださる神さまがいてくださることが今日わたしたちには分かっています。

神さま、ありがとう。「ありがとう」の歌、知ってますか？ 「ありがとう、神さま、ありがとう、わたしたちみんな」、そんな心でずっとずっとこれからも長く長く、今日いただく千歳飴のように長く長く、神さまの愛の中に感謝の心をもって生きることができますように。「ありがとう」、どんなことがあってもそう言える心を、ずっとこれからも大切に生きていくことができますように。皆さんがたった一言「ありがとう」、そう言ってくれば、お母さんはどんな大きな苦勞の中でも、「ああ、良かった」、そう思えます。お父さんはどんなに大変なお仕事の中でも、皆さんがたった一言「ありがとう」って言ってくれたら、毎日毎日のお仕事の中の大変な気遣いと、そして、自分がしていることの意味が見えなくなる、そのような毎日の中で、「ああ、自分は、自分の家族のためにこうしてこの自分の全部をこの仕事にささげているのだ」、そんなふうを受け止めることができます。「ありがとう」が全てを変えるのです。神さまへの「ありがとう」が、わたしたちの日々の全てを感謝にするのです。

今日みんなで一緒に、「神さま、ありがとう」、素直にそんなふうと言える子どもたちを囲んで、七五三を迎えることができた子どもたちの成長を喜ぶお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんたちとの心の絆に結ばれて、こ

の子たちの上に、そしてご家族の上に、神さまの祝福を願って、どのようなときも「ありがとう」って言える、そんなこれからの生活になりますように、このミサをささげましょう。このような先の見えない、今の日本の社会の中にあって、どんなことが待ち受けていても、与えられたこのいのちと共に生きる限り、わたしたちには生きる意味がある、そう言える、そのような日々に向かって一歩一歩、この子どもたちと共に成長してゆくことができますように。そのような祈りを込めて、今日のこのごミサをおささげいたしましょう。

それでは、これから、七五三を迎えたお子さんたち、お父さんお母さんたちの祝福のお祈りをいたします。どうぞ、お父さんお母さんと一緒に、七五三の皆さん、前の方にお進みください。

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高